



藤谷 謹至
議員
(拓政会)

問 学校施設維持管理と学校敷地内の安全対策

答 3カ年実施計画により計画的に整備を進め、生徒に日常的に繰り返し指導を行い安全確保に努める

問 学校体育館は地域の防災避難所としての役割もあり、天井などの非構造部材や照明器具等の耐震対策も重要である。また校舎の老朽化による雨漏り・スガ漏り等の施設管理・学校敷地内の安全対策について伺う。

(1)非構造部材の耐震化工事の進捗状況。
(2)雨漏り等の施設の現状と非常口の確保。
(3)教職員の敷地内駐車場利用の現状と保護者の送迎時の安全確保。

教育長 (1)非構造部材の耐震化については、平成24年度から3カ年計画で、地震等で転倒のおそれがある本棚、玄関げた箱等について、転倒防止、固定化など706カ所の工事を実施しているところである。普通教室、特別教室、職員室、保健室の506カ所については終了しており、最終年度である平成26年度は、校長室、廊下、トイレなど未対策であった200カ所について耐震化を進めていく。



忠類小学校の学校敷地

(2)屋内運動場の屋根材自体が経年劣化しているようなケースがあり、3カ年実施計画に位置づけをし、年次計画をもって実施するとともに、対処的な修繕で解消が可能なものは、その都度対応していきたい。

非常口の確保については、日々の管理点検を行っているが、冬期間での大雪により、非常口がふさがれるケースが生じるような場合には、代替の避難口を確保している。

教育長

(1) H26 スケートリンク整備交付金内訳

		大規模校	中規模校	小規模校
定額金		24万円		
加算分 リンクによる	外周250m未満	12万円	10万円	8万円
	外周250m以上	20万円	15万円	10万円
	中リンク	2万円		

(3)通常時は駐車場スペースは確保できていると認識しているが、悪天候時における保護者による送迎時については、児童生徒には十分に注意するよう指導し、さらに保護者には安全運転と迷惑駐車・停車をしないよう協力を求めている。

問 学校スケートリンク造成について
答 地域やPTAの方々の協力を得ながら、継続していきたい

問 学校スケートリンクを造成しているのは9校で、PTA・少年団等で連携し造成・維持管理を行っている。大雪の場合、農家・建設業者等の保護者が所有する大型機械に頼るのが現状であるが、以下の点について伺う。

(1)スケートリンク整備交付金内訳と算定方法。
(2)車両の現状と修繕費の対応。
(3)大雪の場合のスケートリンク除雪。

(2)夏場のグラウンド整備を兼ねているものやリンク専用としているもの、また車両に排土板を装着して学校敷地内の除雪にも使用しているものなどがあり、修繕費については、スケートリンク整備交付金で賄っている。
(3)児童生徒の保護者で農業・建設業関係に従事している方などが、厚意により除雪用重機などを出動させ、対応してもらっている。

再質問 大雪の場合のスケートリンク除雪について、町が学校敷地内を除雪する際にリンクの除雪をする事は出来ないのか。

答 まずは生活道路をあけることから、除雪の第一本分であることから、当面、今の形で協力をいただきたいと思っている。